



ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

1963年3月23日創立 週報2440号

第2730地区 鹿児島西ロータリークラブ

第 2487 回例会

1 月は ロータリー 理解 推進 月間

平成26年1月22日

- 例会場 〒892-0828 鹿児島市金生町3番1号 山形屋1号館7階 社交室 毎週水曜日 12:30~13:30
- 事務所 〒892-0828 鹿児島市金生町3番1号 山形屋1号館9階 ☎223-5902・FAX 223-7507

会長 長柄 英男
 幹事 坂木 貞剛
 会報委員長 上之園正幸

本日の主要プログラム クラブ協議会（上期報告・下期計画）

- (1) ロータリーソング（手に手つないで）
- (2) 会長あいさつ
- (3) 会務報告
- (4) 出席報告
- (5) ニコニコBOX披露

会長挨拶 長柄 英男 決議 23-34

ロータリークラブでは奉仕の理想 Ideal of service という言葉が頻繁に出てきますが、その根源となる文書が決議23-34であるとされています。決議23-34は1923年に国際大会によって23番目に議決された決議と言う意味である。そして決議23-34は奉仕の理想を確定した最初で唯一の文書でロータリーの哲学の根幹を形成する極めて重要な文書とされています。

決議23-34の第1条には「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は Service above self という奉仕哲学であり、He profits most who serve best という実践理論の原則に基づくものである」と記載されています。

山下パストガバナーの地区大会に招待し、インターネットで源流の会を主宰されている、2680地区田中毅パストガバナーは以下の通り述べておられます。

ロータリーには二つの奉仕理念があります。一つは他人のことを思い遣り、他人のために尽くそうという国際社会を含んだ対社会的奉仕活動に関する理念であり、私たちはこれを Service above self というモットーで現しています。もう一つは科学的かつ道徳的な経営方針によって、自分の事業や同業者の事業の発展を図ると共に、業界全体のモラルを高めていこうという職業奉仕の理念であり、私たちはこれを He profits most who serves best というモットーで現しています。ロータリーにとってもっとも

大切なこの二つの奉仕理念を定義している唯一のドキュメントが、この決議 23-34 なのです。

そして同決議第4条の「奉仕するものは行動しなければならない。ロータリー哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的に行動に表さねばならない。」という言葉は深く胸に刺さる言葉ではないかと思えます。

決議23-34 第1条
 ロータリーはひとつの人生哲学
 (Fundamentally, Rotary is a philosophy of life)

利己的な欲求 ↔ 他人への奉仕的感情

相反する二つの心の葛藤を調和

「利己と利他の調和」の哲学



◇前回の例会(1月15日)の報告

会員数	77 (73) 名
出席数	47 名
出席率	64.38 %

◇前々回の例会(1月1日)の訂正

出席率	(休会)
訂正出席数	
訂正出席率	

前回の例会記録（1月15日分）

〈プログラム〉

クラブフォーラム（広報・IT）

- 委員長 三木 武幸君
- ロータリーの友地区代表委員 深尾 兼好君

〈幹事ゲスト〉

西プロバスクラブ 永吉 孝文様
シイツウ株 田中 聡様

〈ビジター〉なし

※第1回米山功労者 感謝状贈呈 七枝敏洋君

〈1月会員誕生日祝〉7名

10日 有馬 戦男君	12日 古木 圭介君
15日 水淵 清治君	16日 藤安 秀一君
21日 堂園光一郎君	24日 岩男 秀彦君
24日 西川 雄一君	

〈1月会員夫人誕生日祝〉6名

19日 櫻美 正子さん	22日 上村 京子さん
22日 平澤由紀子さん	25日 川村 康子さん
31日 山元由紀子さん	31日 小正 陽子さん

〈会務報告〉

1. 本日は百万ドル食事にご協力いただきありがとうございます。
2. 例会終了後、定例理事会を開きます。

【訃報】名誉会員 小山幸義様（チャーターメンバー）が、1月14日ご逝去されました（享年83才）。

ニコニコBOX

高山 義則君

謹賀新年 年賀状ありがとうございました。今年もどうぞよろしく。

原 正親君

12月31日に花を届けていただきありがとうございました。おかげで楽しい正月を迎えられました。感謝してニコニコします。

藤安 秀一君

本日で59歳と364日を迎えました。明日で満60歳の還暦を迎え、人生の短さを感じる年になりました。これからもピンピンコロリを目指して元気よく生きていきます。

古木 圭介君

小山幸義名誉会員のご冥福を心からお祈りします。私の入会の時から知覧カントリークラブのレストランなど公私ともにお世話になりました。あの甘いマスクと美声は生涯忘れられないでしょう。

小計 7,000円 累計 253,000円

あの日、この時

メートル法の完全実施 (S34年1月2日)

18世紀の末、世界統一単位を目指してフランスで制定された。日本では明治24年、尺貫法と併用する形で導入された。本格的な普及はメートル法を義務づけられた昭和26年施行の計量法からで、完全実施は昭和34年からだった。

桜島の大正大噴火 (T3年1月12日)

午前10時過ぎ東西の山腹が爆発、噴煙は8,000mに達した。流出した約30億トンの溶岩は瀬戸海峡（幅約300m、深さ70m）を埋め尽くし、桜島と大隅半島は陸続きとなった。噴火の8時間後には錦江湾内でM7.1の大地震が発生した。

南極に日章旗 (M45年1月28日)

白瀬轟中尉ら一行26人は南緯80度5分、西経154度（南極点から約1,100キロ地点）に到達、日章旗を掲げ、露営地を中心とした雪原を「大和雪原（ゆきはら）」と命名した。アムンゼン（ノルウェー）の世界初南極点到達の1か月後のことだった。

横井庄一さん発見 (S47年1月24日)

旧日本軍歩兵38連隊伍長。地元の漁師に発見されるまでの28年間、太平洋戦争終結を知らされることなくグアム島のジャングルや地下壕で生活した。「恥づかしながら帰ってまいりました」が帰還後の第一声。

次週予告

1月29日(水) 12:30～ 山形屋

「エネルギーのお話」

日本ガス(株) 代表取締役社長 津曲 貞利様

市内RC例会プログラム

東RC	1月23日(木)	クラブ奉仕フォーラム	山形屋	中央RC	1月27日(月)	クラブ奉仕フォーラム	山形屋
北RC	1月23日(木)	新年会のため18:30～に変更	レファイト 鹿児島	東南RC	1月28日(火)	フリートーク	サンロイヤル
サザン RC	1月23日(木)	クラブ協議会	東急イン	城西RC	1月28日(火)	ゲスト卓話 MBCタレント 猪俣 陸彦様	東急イン
鹿RC	1月24日(金)	会員卓話 竹下 浩会員	山形屋	南RC	1月29日(水)	卓話 米山奨学生 陳 麗様	サンロイヤル
				西南RC	1月29日(水)	夜の例会に変更	ゆうづき